

標高1,350m
野辺山高原で育ちました

雲の上のトマト

高地栽培 濃厚トマト



特徴

生産地とその特徴

野辺山高原(のべやまこうげん)は日本・本州の中央部、八ヶ岳東麓の裾野、秩父山地の西端にある高原。高見澤農場は標高1350mの高地に位置しております。8月でも夏は昼間およそ25℃前後、夜間早朝は10℃台を推移し、また湿度が低く、高地のため紫外線などの日差しが強く、このような気候的特徴が出荷時期、野菜の質を高め、他地域との差別化がはかれる特徴となっているのです。野辺山高原は夏場の高冷地野菜の大生産地として内外に知られ、今にいたっています。

気候がトマトに及ぼす特徴と生産方法

野辺山高原の気候は前述したとおりですが、私がトマトに着目したのは野辺山の気候はトマトの原産地とされる南アメリカに位置するアンデス山脈の気候とその特徴が似ている点です。このような環境下で育ったトマトは自身を守るためより糖分を蓄え、より力強い味のトマトに成長します。

- ・過酷な原産地により近い状況下に近づけるためあえて土耕栽培にすること。
(土耕の場合、病気発症などのリスクは高くなり、管理も難しくなります。)
- ・極限まで絞り込んだ水分供給であること。
- ・必要最低限ごくわずかな有機肥料で育てること。

以上が「雲の上のトマト」の最大の栽培特徴となります。

トマトの特徴

このような冷涼、乾燥、強い日差しの気候と絞り込まれ厳選された栽培方法によって育てられたトマトは次のような特徴を顕著に示します。

- ・トマトそのものの風味が非常に強くなる。
- ・高糖度を蓄える。フルーツトマトにおいては糖度14度まで達する物もあります。
- ・水分ストレスにより、それぞれの品種において通常の大きさの1/3程度の大きさに凝縮され、大きくなりません。



生産者 **高見澤 憲一**

- ・年齢 昭和36年生まれ 52歳
- ・本人栽培略歴
コマーシャル制作会社退職後27才で新規就農。
主にレタス・白菜・キャベツを中心に生産、その後高地栽培におけるトマトに着目し2007年にトマト栽培開始

雲の上のトマト
高地栽培 濃厚トマト



野辺山高原(のべやまこうげん)



アイコ



ルネッサンス

